

幼保一元化について



佐々木 紀雄 議員

【質問】 人口推計によれば平成30年には市内の小学生が約1350人、中学生が約700人になると見込まれる。このことから、学校再編は不可避であり、市も再編に向けて取り組んでいるが具体的な計画があれば示せ。

【教育長】 質問のとおり、将来の生徒数減少によりク

ラブ活動等に支障をきたす可能性が大きく、学校再編は避けられないと認識している。特に中学校は全校で50名前後の学校が半数以上にのぼることから再編を急がなければならない。8月頃まで市内の「内部検討委員会」で議論し、9月以降出来るだけ早い時期に市民や有識者を交えた「再編検討委員会」を設置し、19年度中に一定の方向を示す予定である。

【質問】 幼保一元化は同一建物内で幼保教育を行うという、旧宮守村が時代に先駆けて導入した優れた施策であるが、市の「経営改革大綱」では平成20年にも民営化の方向としている。国も幼保一元化に向けた検討をしており、今後も幼保一元化を堅持すべきと考えるが市の考えを示せ。

【市長】 幼保一元化は旧宮守村が行ってきた特徴的な施策であり、そのことについては新市になっても尊重していきたい。国は「認定こども園」という幼稚園と保育所を合わせた形態をスタートさせようとしている。経営改革大綱では18年度に運営方針の検討、19年度に運営方針の決定、20年度には民間主体の運営に移行していくこととしているが、国の動向を見極めながら保育の質や経済的な負担を含む公平な保育のあり方について検討していく。

【質問】 若年層の就職支援について他市のように就業サポートセンターを設置し、就職支援していく考えはないか。

【市長】 「とびあ」において各種助成・支援制度に関する情報提供、個別カウンセリングや能力・スキル向上のためのアドバイスなど離職者に対して相談・助言の支援を行っている。



一元化で運営されている宮守保育所・幼稚園

遠野独自の弱者救済対策は



細川 幸男 議員

【質問】 農業担い手経営安定交付金について、食料自給率45%の旧態以前の政府案に対し、黄川田徹衆議院議員は7割の農家をつぶすと地方の文化は壊れてしまうと政府案に反対していましたが、市長の考えを伺う。

【市長】 全国一律で考えるのではなく、地域の特性を

生かしていくことを訴えていきたい。

【質問】 第3セクターについて、馬の里等は民間委託の方向で何れは黒字に転じる事ですが、ホテルについては、3,500万円の家賃をもらうために委託料名目で5,000万円をホテルに払っている現実があります。にもかかわらずホテル経営は黒字として、株主の利益配当を行う等は、汗水流し、血を流し、命まで削って懸命に生きている市民にとってはやり切れない思いです。柏木平交流施設は、遠野市の第3セクターの中で一番赤字が出ている訳です。早急に専門家や市民の声などを集約し、創意工夫をこらしても黒字経営見込みがなければ処分すべきと思います。継続するなら、川の駅構想とか、温泉を掘って長期格安滞在のやすらぎの島等にして、遠野市在宅入浴者にも本物の温泉を利用させる大胆な構想にすべきではないか。

【市長】 経営改善を進めるために市長が代表取締役となることとした。市民の声や、いろいろな角度から検討し、夢もてる再建計画を進めてまいります。

【質問】 障害者自立支援法について、利用者の一部負担と言う考え方も国の財政事情からして理解出来ない訳でもないですが、自立支援と言う言葉は聞こえは良いのですが、実際には障害者の一割負担法に感じてなりません。遠野独自に支援する方法はないか。

【市長】 法律が施行されて行く中で課題が予測されたり生じたりした場合は、弱者救済は当然のことであり最善を尽くしてまいります。



今後の活用が期待される柏木平地区